

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることや、語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことについて、正答率が全国平均を上回りました。

算数では、複数の合同な三角形を組み合わせた平行四辺形について、その高さの求め方について考えた上で、全体の面積の求め方を式や言葉を用いて表し、答えを導き出す設問で、正答率が全国平均を上回りました。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強している」の設問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童が合計で74%と、同一集団・同一学年とも経年変化が向上しています。また、読書を好む傾向にあり、「平日に1日30分以上読書をしている」と回答した児童の割合が高くなっています。

課題と対応

国語では、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことを問われる設問において正答率が低く、課題が見られました。ドリルなどを使った反復練習だけでなく、漢字の用法や意味理解を意識した学習を進めたいと考えています。また、解答として求められている要約文を書くため、本文の文章と図表を結び付けて得られる情報や、本文中の要点となる言葉等を探し出して、簡潔に記述解答することに課題が見られました。

算数では、解答として求められている事柄を帯グラフから読み取り言葉と数で記述したり、「30mを1としたときに、12mが0.4にあたる理由」を記述解答で説明したりすることに課題が見られました。

本校では、主に算数の学習で課題に対する自分の考えを書いたり、授業終末で学習した内容について大切な語句を用いながら文章にまとめたりする学習活動を、積極的に取り入れていきます。今年度の学力調査の結果をふまえ、授業改善に関する研修を重ねながら、よりよい指導法を教員が共有し、課題の改善を図りたいと考えています。

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という設問に対し、「きちんと守っている」「だいたい守っている」という回答の合計が59.1%で、全国平均よりも低くとなっています。また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない」という回答が28.4%と、全国平均を上回っていました。メディアとの適切な関わり方に、課題が見られます。

【保護者・学区の方へのお願い】

上記の通り、家庭学習への取り組みに改善傾向が見られるものの、メディアとの関わりは課題が見られます。このことは、4・5年生が実施した岡山市学力アセスの結果（9月上旬に配付）にも見られる傾向です。学校では授業改善と毎週水曜の朝に実施している健康チェックによる生活習慣の改善啓発を重視しています。この二つの取組を、児童の学力向上につなげていきたいと考えています。

各家庭におかれましても、メディアとの適切な関わりを中心に、定時の就寝・起床や、毎日の朝食等、望ましい生活習慣の定着のために、家庭と学校が連携して取り組めるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	3年時に学習した漢字を正しく書くことができる。
	社会	地図から情報を読み取ったり、地図記号を用いた地図の利点について考えたりすることができる。
	算数	重さの計算をしたり、4けたの整数の大小を比べたりすることができる。
	理科	昆虫の体の色とすんでいる場所の関係について記述することができる。
	学習状況	「平日に1時間以上学習している」という回答が多い。
第5学年	国語	登場人物の気持ちを叙述を基に捉えることができる。
	社会	中四国の県の位置や都道府県の名称、特産物について理解することができる。
	算数	直方体の展開図や、4けたの整数の大小について理解することができる。
	理科	虫めがねの使い方や星の動き方等「生命・地球」の領域について理解することができる。
	学習状況	読書を好む傾向にあり、「平日に30分以上読書をしている」という回答が多い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	文章の内容を正しく読み取ったり、目的や必要に応じて書いたりすることに課題がある。	記述する力を高めるための授業づくりを研究し、提示された課題に対する自分の考えを目的や必要に応じて書く活動を重視し、指導法を教員で共有していきたい。 また、授業導入時だけでなく、終盤に学習内容を自分の言葉でまとめたり、学習をふり返ったりする活動にも取り組ませることで、書く活動の充実を図っていきたい。 平日の家庭学習の時間をうまく確保することができる。健康な暮らしを意識できるように健康チェックを今後も継続して取り寄せ、睡眠時間やメディアとの上手な付き合い方について考えさせることで、生活習慣の改善と家庭学習の充実につなげていきたい。
	社会	記述式の解答を苦手とする傾向が見られる。	
	算数	教科の領域では「図形」、解答形式の中では記述式を苦手とする傾向が見られる。	
	理科	教科の領域の中では「物質・エネルギー」に課題が見られる。	
	学習状況	平日に1時間以上ゲームやインターネットをしているという回答が多い。	
第5学年	国語	教科の領域の「書くこと」や、記述式の解答形式に課題が見られる。	教科別にみると社会科に課題が多く見られる。しかし、社会科の中でも「伝統や文化」の領域では学習内容がしっかり定着しており、児童が興味をもって学習に取り組んでいたことが伺えた。第4学年への対応と同様、授業の中で書く活動を重視するとともに、児童が自ら調べたり考えを交流したりする活動を取り入れ、意欲をもって学べるような指導法の工夫をしていきたい。 算数科では、小数や分数を含めた四則計算で、児童が家庭学習を中心に定着を図ってきた成果が概ね表れている。しかし、1つの式に(−÷)等複数の計算が入り、計算の順序を問われる内容に課題が見られた。学期末・年度末等で復習をする際は、重点的に取り組ませていきたい。
	社会	教科の領域の中では「自然災害からくらしを守る活動」に課題がある。	
	算数	「数と計算」「測定/変化と関係」の領域に課題がある。	
	理科	教科の領域の中では「物質・エネルギー」に課題がある。	
	学習状況	平日のゲーム等の時間が3時間以上の回答が多い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

上述の学習状況の課題に加え、今年度の5年生のゲームやスマホの使用時間（平日）が1時間を下回る回答の割合が増加した反面、長時間メディアと接する児童の割合も増えており、児童の実態に二極化の兆しが伺えます。今後も、授業改善による児童の学習意欲の向上と、生活習慣の改善の両輪で児童の学力を支えていきたいと考えています。各ご家庭の協力をよろしくお願いいたします。